

④ 「箕面らしさ」を生かすまち

(1) 山麓に代表されるみどり豊かな自然環境を守ります

基本方針	成果指標	算出方法	当初値	目標値	実績値	成果	課題
山とみどりの自然環境を箕面のかけがえのない魅力として大切にする意識を高め、市民・事業者・行政の協働による保全活動を広げます。	山なみのみどりに対する満足度	市民満足度アンケートで、山なみのみどりについて「満足している」「どちらかといえば満足している」と答えた人の割合	81.6%	85%	79%	山麓ファンドを活用した山麓部の保全及びナラ枯れ対策などにより、山なみのみどりは守られているが、新たな課題（土砂災害など）に対する関心の高さも働いたとみられ、最終的に目標値には達しなかった。	引き続き、山麓部や市街地におけるみどりの魅力をイベントなどを通じて発信していくとともに、土砂災害対策などの対策についても適切に対応していく。
	山なみ景観保全地区のうち、自然緑地の指定に同意が得られた面積の割合	自然緑地同意面積／山なみ景観保全地区面積（380ha）×100	41.1%	50%	63%	NPO法人が主導で市民目線での働きかけを行ったことが、同意率向上に繋がり、目標値を達成することができた。	山林保有者、市民、行政が連携しながら箕面の山なみ景観の保全に取り組み、今後も市民主導による山麓保全活動を継続していく。
美しい河川を守り、水辺環境を市民の憩いとふれあいの場として大切に保全していきます。	市民による河川などでの清掃美化活動箇所数	市民による河川、ため池での清掃美化活動箇所数	11箇所	15箇所	11箇所	自治会、NPO法人その他団体に対して働きかけを行っているが、高齢化などの理由から、目標値には達しなかった。	引き続き、地域コミュニティの醸成を目的とした積極的な清掃活動への参加を働きかけ、その手法や頻度を検証しながら進めていく。

(2) 住宅都市として培われてきた落ち着いたある安心な住まい・まちなみ景観を大切にします

基本方針	成果指標	算出方法	当初値	目標値	実績値	成果	課題
景観に配慮した美しいまちなみを守り育てていきます。	まちなみの美しさに対する満足度	市民満足度アンケートで、まちなみの美しさについて「満足している」「どちらかといえば満足している」と答えた人の割合	69%	85%	81%	都市景観形成地区の新たな指定や拡大変更を実施し、建設時の協議で施主や事業者との理解を得ることができたが、目標値には達しなかった。	市全域を景観計画区域としているが、今後も重点地区を中心に、それぞれの地区ごとのきめ細かいルール策定や、良好な景観形成に対する保全や誘導を行っていく。
多様な人々が安心して住み続けられる住まい・まちづくりを進めます。	市民主体による住環境に関するルールがある地区の数	市民が自主的につくった住環境に関するルール（建築協定、地区計画、都市景観形成地区、景観配慮地区、地区まちづくり計画）がある地区の数	23地区	28地区	31地区	住環境に関するルールを策定することで、均一的なまちなみ形成を図ることができ、それがまちの魅力ひいては価値を高めていくということが、市民や開発業者に認識されるようになり、目標値を達成することができた。	引き続き、ルールを運用する地元組織の活動支援に注力する。
	長期優良住宅の認定戸数（再掲）	「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」に基づき、所管行政庁による「長期優良住宅建築等計画」の認定を受けた住宅の戸数	0戸	2,200戸	3,055戸	平成21年（2009年）に施行された法律の主旨が市民、事業者に認知されるとともに、土地区画整理事業の進捗、鉄道延伸の決定等による住宅需要の増加も相まって、認定戸数は堅調に増加し、目標値を達成することができた。	引き続き法に基づき長期優良住宅の認定を進める。
	住宅の耐震化率	耐震性を満たす住宅数／住宅総数×100	74%	95%	81%	市内事業者との協定締結、NPO法人によるフォーラム開催、アンケート調査等を行った。また、平成30年（2018年）大阪北部地震により市民の関心も高まり、耐震診断、設計、改修工事の補助実績は増加したものの、目標値には達しなかった。	引き続き耐震化の重要性について積極的に啓発し、補助事業の活用により既存住宅の耐震化を推進する。

(3) 旧街道などの歴史や新しい市民文化を後世に伝えていきます

基本方針	成果指標	算出方法	当初値	目標値	実績値	成果	課題
市民が箕面の歴史・文化に誇りを持って子どもたちに伝えていけるよう支援します。	郷土資料館企画展の来場者数	郷土資料館企画展の来場者数	17,000人	20,000人	10,668人 《参考》 19,769人 (H30)	年間を通して企画展示、講座を開催し、来館者増加に取り組んだが、目標には達しなかった。	引き続き、魅力ある展示、講座の企画に取り組む。
市民の自主的な文化活動が新しい箕面の文化として定着するよう支援していきます。	市民が(公財)メイプル文化財団と協働で実施する文化イベントの数	市民が(公財)メイプル文化財団と実施する文化イベントの数	29件	30件	3件 《参考》 39件 (H30)	新型コロナにより、中止となるイベントも多く、目標値に達しなかったものの、新型コロナ拡大以前はイベント数も増加傾向にあり、市民の自主的な活動が新しい文化として長く受け継がれることに寄与することができた。	引き続き、箕面市民の文化活動を促進すべく魅力あふれる事業企画と丁寧なホール運営を心がけ、文化芸術を身近に感じられる土壌づくりに努める。

(4) 箕面の滝や紅葉に加え、新たな魅力の創出によって観光や産業を活性化します

基本方針	成果指標	算出方法	当初値	目標値	実績値	成果	課題
観光資源を生かし、四季を通じて快適で魅力ある観光地とします。	観光客のまちなかへの回遊率	紅葉期の観光シーズンに箕面公園を訪れた人数とみのお本通り商店街を通行した人数の割合	32%	50%	39%	商店街を含めた観光マップを作成・配布したこと等により、回遊率を増加させることができたが、目標値には達しなかった。	今後も効果的なPR方法等を検討し、観光客のまちなかへの回遊率を高めるよう努める。
新産業の誘致をめざすとともに、地域の特性を生かし、サービスやの魅力を向上させる取組を進め、商店街に活気を取り戻します。	店舗の新規開設数	箕面市商店会連合会に参画する商店街・商店会の新規開設数	8店舗	15店舗	17店舗	萱野地域における新規開店数が多かったため、目標値を達成することができた。	引き続き、商工会議所や商店会などと連携し、商店街振興及び地域商業の活性化に努める。
	市内の年間商品販売額	商業統計調査による市内年間商品販売額	384,295百万円	450,000百万円	376,032百万円 (H26年度)	商業統計調査が廃止されたため、市内の年間商品販売額を確認できなかった。	引き続き、商工会議所や商店会などと連携し、商店街振興及び地域商業の活性化に努める。
市民・事業者・行政が協力して地産地消を推進するとともに、農地が持つ多面的な機能を生かしながら農業を活発化します。	農業サポーター登録者数	農業サポーター登録者数	53人	150人	151人	農業サポーターの登録が平成29年度(2017年度)に目標の150人に達し、その後も維持することができた。	今後も、受け入れ希望農家側と農業サポーター登録者側のニーズが合致したものについてサポーターの斡旋を積極的に行っていく。
	遊休農地の解消率	改善・改善着手農地/指導対象農地×100	97.8%	100%	98.3%	箕面市農業公社が「耕作者のいない農地」の受け皿となり、市内遊休農地の解消に寄与していることのほか、新規就農者への農地の斡旋などを積極的に行い、遊休地解消が進んだが、目標値には僅かに達しなかった。	引き続き、農地パトロールや利用権設定の促進に努め、遊休農地の解消率100%をめざす。
	朝市の販売額	箕面駅前朝市、止々呂美朝市、箕面中央朝市の販売額	15,800千円	100,000千円	190,234千円	地場農業の認知度や食の安全に対する意識が高まったことや、JA大阪北部農産物直売所が開業したことで目標値を達成することができた。	引き続き、地産地消の推進や箕面産野菜のPRを継続し、安定した販売額を確保できるように努める。

(5) 箕面らしい都市魅力をさらに高め、誰もが住んでみたいと思うまちをつくります

基本方針	成果指標	算出方法	当初値	目標値	実績値	成果	課題
<p>「箕面らしさ」を全国に発信し、箕面のブランド力を高めます。</p>	<p>住みよさランキング（関西圏）</p>	<p>東洋経済新報社発行の「都市データパック」において掲載される、全国791都市（全国790市と東京区部全体）を対象とした「住みよさランキング」</p>	<p>2位</p>	<p>1位</p>	<p>4位</p>	<p>令和2年度（2020年度）は関西圏内4位、大阪府内2位という結果となり、目標値には達しなかったため、引き続き効果的なシティプロモーションの方法を検討する必要がある。</p>	<p>引き続き、都市魅力の向上、発信に取り組み、上位へのランクインをめざす。</p>
	<p>住みよさランキング（全国）</p>	<p>東洋経済新報社発行の「都市データパック」において掲載される、全国791都市（全国790市と東京区部全体）を対象とした「住みよさランキング」</p>	<p>58位</p>	<p>15位</p>	<p>44位</p>	<p>令和2年度（2020年度）は44位という結果となり、目標値には達しなかったため、引き続き効果的なシティプロモーションの方法を検討する必要がある。</p>	<p>引き続き、都市魅力の向上、発信に取り組み、上位へのランクインをめざす。</p>
	<p>新聞などで箕面市関連の話題が報道された件数（事件・事故を除く）</p>	<p>四大紙やテレビなどで報道された市情報提供の掲載・放映件数</p>	<p>170件</p>	<p>230件</p>	<p>215件</p>	<p>箕面市関連の話題が報道された件数は、計画期間中、毎年度200件前後を維持してきた。令和2年度（2020年度）は、コロナ禍によりイベントが減少した一方で、市長選挙により12年ぶりに市長が交代し関連した話題もあったことから、前年に比べ報道件数が微増したが、最終的に目標値には達しなかった。</p>	<p>市の取り組みや話題について、新聞等を通じて市内外へ周知を図るため、報道機関に対して、今まで以上に迅速かつわかりやすい情報の提供に努める。</p>